



The 94th Annual Meeting of the Japanese Society for Tuberculosis

第 94 回 日本結核病学会総会

イブニングセミナー 1



受託検査における IGRA の検査工程と精度管理の取り組み

座長

永井 英明 先生

独立行政法人 国立病院機構東京病院
呼吸器センター

演者

霜島 正浩 先生

株式会社ビー・エム・エル

日時

2019年 **6月7日** (金)
17:40 ~ 18:30

会場

第3会場

(ホテル日航大分オアシスタワー 5F 孔雀 A)

受託検査における IGRA の検査工程と精度管理の取り組み

演者 **霜島 正浩** 先生 株式会社ビー・エム・エル

インターフェロン γ 遊離試験 (interferon-gamma release assay : IGRA) は、BCG の影響を受けないことから 2005 年 4 月に保険適用となり、接触者健康診断をはじめとして結核の感染診断に広く使われている。その後 2014 年 5 月には、インターフェロン γ 遊離試験使用指針も策定され、現在では多くの臨床の現場で認知されている。

IGRA 検査の原理は、結核感染を受けた人の血液に結核菌に特異的なタンパク抗原を作用させ、血液中の抗原特異的 T 細胞から産生・放出される Interferon-Gamma (IFN- γ) を測定して感染を診断する方法である。現在、国内において 2 種類の IGRA が上市されているが、どちらも血液検体の取り扱いや検査技術レベルの差が大きく検査結果に影響する。

本セミナーでは、あらためて IGRA の検査工程、精度管理の現状とその取り組みについて紹介し、検体取り扱い時の注意点や今後の課題などについても情報共有をはかりたい。

Access

ホテル日航大分 オアシスタワー

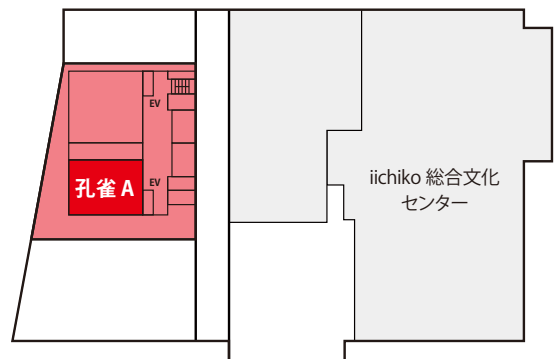
〒 870-0029 大分県大分市高砂町 2-48



Floor Map

第 3 会場

ホテル日航大分 オアシスタワー 5F 孔雀 A



JR 線 | ・大分駅より徒歩 約 10 分 (府内中央口 1 番ホーム出口)
・大分駅よりタクシーで約 2・3 分 (道路状況によって変動します)

自動車 | ・九州横断自動車道大分 IC から市街地方面へ約 7 分
大分空港から | ・空港特急バス「エアライナー」 大分駅まで約 68 分